

二〇一六年 六月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

今月の言葉

たった一言が人の心を傷つける たった一言が人の心をうるおす 殿村進

たった一言が人の心を傷つけることがあります。たった一言が人の心をうるおすことでもあります。私たちの口から発せられる言葉には、それだけ大きな力があります。嫌がるような一言をかけるだけで、まるで「刃物」のように相手を簡単に傷つけてしまいます。一度口に出した言葉は、取りかえしが利きません。反対に、相手を思いやる言葉や喜ばせる言葉を言うことで、相手の心をうるおせます。家族や友達など近い間柄になるほど、気が緩んで心ない言葉を言ってしまうがちです。

今日、自分が発した言葉を振り返ってみてください。相手を傷つけるような言葉は避けるように意識し、考えながら言葉を口にすれば、言葉は「刃物」に変らずに済むのではないのでしょうか。

今月の聖語

ぜんぢしき おお
善知識の仰せなりとも、成なるまじきなど思ふは、

大きなるあさましきことなり。

れんによしようにん ききがき
『蓮如上人御一代記聞書』

本願寺第八代宗主の蓮如上人の言葉です。善知識（念仏の教えを勧めてくれる人）がおっしゃることに對して、できないと思うようなことであっても、まずはできると思つてやるように勧めておられます。日常を考えてみると、やってくれと思つて、人から何かを頼まれたり、任されることがあります。それに対して、やりもせず初めから「できない」とか「無理」と言う人がいます。できるかどうかはやってみないとわかりませんし、後になって「やっておけばよかった」という思いが起こり、かえつて後悔してしまふかもしれません。自分にはできないと決めつけるのではなく、蓮如上人が言われるように、まずは「自分にはできる」と自信を持ち、失敗を恐れずにやってみるよう心がけてみましょう。